

くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 金管・打楽器専攻生による

金管合奏研究発表会

Sakuyo British Brass Annual Concert 2019

Program

〈第1部〉

指揮：本学学生

サモン・ザ・ドラゴン／P.グレアム

Summon the Dragon / Peter Graham

セント・フローリアン・コラル／T.ドス

St. Florian Choral / Thomas Doss

鷲が歌うところ／P.L.クーパー

Where Eagles Sing / Paul Lovatt Cooper

ホーコン善王の伝説／P.スパーク

The Saga of Haakon the Good / Philip Sparke

〈第2部〉

指揮：白濱俊宏

チューバ協奏曲／P.スパーク

Tuba Concerto / Philip Sparke

Solo：弘中晴菜（4年）

メトロポリス1927／P.グレアム

Metropolis 1927 / Peter Graham

※都合により曲目が変更になる場合がございます。

1/11

2019 開場 18:15
(Fri.) 開演 18:45

藤花楽堂

（くらしき作陽大学
作陽音楽短期大学内）

入場
無料



メトロポリス 1927 を岡山で聴く

毎年度、意欲的なプログラムに取り組んでいる作陽ブリティッシュブラス。2018年度の研究発表会は昨年をさらに上回る豪華な選曲となった。ブラスバンドを初めて耳にする方でも満足できる充実の90分プログラムである。

第1部はグレアム作曲の《サモン・ザ・ドラゴン》で華やかに幕を開ける。コーブランド作曲の「市民の為のファンファーレ」を彷彿とさせる管楽器群の重厚なサウンドと打楽器の刺激的なリズムが「ドラゴンを呼び起こせ」の意識にもよく当てはまる。

2曲目にはドス作曲の《セント・フローリアン・コラール》をお送りする。ブルックナーの仕事場であった聖フロリアン修道院へのイメージと偉大な作曲家たちの祈りが込められた美しいコラールである。3曲目もオーケストラに想いを馳せられる作品が続く。J.ウィリアムズなどの映画音楽作曲家の影響を色濃く受けたクーパーが作曲した《鷺が歌うところ》は、鷺が優雅に舞う姿、風や水の感触が映画音楽のような臨場感をもって描写されている。そしてスパーク作曲の《ホーコン善王の伝説》で前半は幕を閉じる。10世紀中頃にノルウェーを治めたホーコン1世を描いた作品で、トロンハイムへの旅やラスタルカルフの戦いなど善王の生涯をブラスバンドで描いた大作である。

第2部は、前半でも取り上げた中から特に吹奏楽・ブラスバンドで抜群の人気を誇る2名の作曲家の協奏曲・新作を取り上げる。《チューバ協奏曲》はスパークによって作曲された全2楽章のコンチェルトである。スパークらしい表情豊かな旋律と音楽描写を味わえる一曲。技巧を見せつけるような構成ではなく、チューバの温厚なサウンドを最大限に引き出した温かい協奏曲である。

今年度のメインプログラムには「ハリソンの夢」や「ザ・レッド・マシーン」等の作品でもよく知られるグレアムの最新超大作《メトロポリス 1927》を選んだ。100年後の未来都市を描いたラング監督のSF映画「メトロポリス」(1927年公開)からインスピレーションを得て作曲された作品で、極めて難易度の高い作品である。高難易度のパッセージ、ソロ、サイレン、バンダなど、壮大な音の波が次々に客席に押し寄せる。ブラスバンド版による大迫力のクライマックスは鳥肌のものであろう。

全国的にも珍しいブリティッシュブラス。金管楽器の華やかで濃密な響き、迫力の打楽器サウンドをブラスバンドの名作の数々でお楽しみいただきたい。

Twitterにて合奏の様子や演奏会情報を更新中！

検索 作陽ブリティッシュブラス

金管合奏研究発表会

2019年1月11日(金) 18:15開場 / 18:45開演
くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学内 藤花楽堂
入場無料

- JR 山陽本線岡山駅から新倉敷駅まで 35分
- JR 新倉敷駅下車北口より徒歩 15分
- 山陽自動車道 玉島インターより 5分

